

商業簿記

第1問 (20点)

次の取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中からもっとも適当と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	受取手形	売掛金	前払金
未収入金	売買目的有価証券	その他有価証券	仮払消費税	のれん
建物	備品	繰延税金資産	支払手形	買掛金
前受金	未払金	借入金	仮受消費税	未払消費税
貸倒引当金	修繕引当金	繰延税金負債	資本金	資本準備金
その他有価証券評価差額金	受取手数料	雑益	有価証券売却益	固定資産売却益
仕入	租税公課	支払手数料	修繕費	手形売却損
有価証券売却損	固定資産売却損	法人税等調整額		

- 決算において、消費税の納付額を計算し、これを確定した。なお、当期の消費税の仮払分は¥400,000、仮受分は¥600,000である。当社は消費税の会計処理について税抜方式を採用している。
- 当社は、新宿株式会社を吸収合併し、新たに当社の株式75株（時価@¥60,000）を同社の株主に交付した。同社から引き継いだ資産および負債の時価は、次のとおりである。なお、株式の交付に伴って増加する株主資本のうち、資本金組入額は¥2,500,000とし、残額は資本準備金とする。
現金 ¥1,300,000 売掛金 ¥850,000 建物 ¥3,750,000 借入金 ¥1,500,000
- 決算において、A社株式（その他有価証券）の帳簿価額¥495,000を時価¥490,000に評価替える。なお、評価差額は全部純資産直入法によって処理することとし、税効果会計を適用する。法定実効税率は40%である。
- 営業用店舗に対して定期修繕を行い、代金¥380,000は翌月末に支払うことにした。なお、修繕引当金¥200,000が設定されている。
- 当期中に3回に分けて取得したB社株式400株（売買目的で所有）のうち250株を1株¥1,345で売却し、代金は後日受け取ることにした。同株式は、第1回目に200株を1株¥1,300で、第2回目に100株を1株¥1,260で、第3回目に100株を1株¥1,552で、それぞれ買い付けている。なお、売買目的有価証券の帳簿価額は平均法で記帳している。また、分記法によって処理している。